

04 代ヶ崎浜・東宮浜

表松島の美しい景観に配慮しつつも、狭あい道路の解消や道路の嵩上げに加え、代ヶ崎浜地区公民分館を高台に移築するなど、美しい自然と安全安心が融合した地域づくりを推進します。

■主な復興施策

□防潮堤の復旧・嵩上げ

- 代ヶ崎浜漁港・東宮浜港の復旧と、防潮堤を津波レベル 1 に対応した高さに嵩上げ (設定高 T.P. 4.3m)※
- ※T.P. とは、Tokyo Peil の略称で、東京湾の平均海面を表す記号です。

□道路の嵩上げ・排水溝の整備

- 代ヶ崎浜西・清水地区について道路の嵩上げ、排水溝の整備に加え、狭あい道路 (4m 未満) 解消のための拡幅を実施
- 代ヶ崎浜谷地地区から新たな地区公民分館に繋がる避難路を整備
- 東宮浜鶴ヶ湊付近について、道路嵩上げや排水溝の整備を実施
- 東宮浜小友付近について、道路の嵩上げを実施

□災害公営住宅の建設

- 代ヶ崎浜峯付近 (眼鏡橋付近) に、災害公営住宅を建設

□地区公民分館の移築

- 代ヶ崎浜峯付近に、被災した代ヶ崎浜地区公民分館を移築

□津波防災公園緑地の整備

- 被災した代ヶ崎浜西付近を津波防災公園緑地として整備し、表松島の景観に配慮した防災林の設置や避難路などを整備

□液状化による地盤沈下地域の嵩上げ等の検討

- 代ヶ崎浜や東宮浜の一部について、地震の影響による地盤沈下や液状化に対応した宅地嵩上げなどの事業化を検討

凡例		
居住系	産業資源	施行区域
商業・業務系	都市資源	防潮堤・堤防
津波防災公園緑地	健康資源	標高凡例
防災林	福祉資源	10m以下
緑地	文化資源	10m~20m
災害公営住宅	教育資源	20m~30m
地区公民分館	道路 (嵩上げ・拡幅)	30m~40m
観光資源	今回の津波浸水域	40m~50m

□断面図 (東宮浜鶴ヶ湊付近) [A-A']



□断面図 (代ヶ崎浜西付近) [B-B']

